

事業番号	事務事業名	病児一時預かり事業	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
01850	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者
	施策名	16	子育て支援の充実	根拠法令等	鏡野町病児・病後児保育事業実施要綱	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・病気や病気回復期にあたり、通園・通学の困難な時期に、対象児を病院併設の施設で預かり健康確保を図る。 ・母子手帳交付または転入等の際に事業説明、申請書の配布し、登録、審査、決定。登録更新案内。 ・医療機関への委託料支払、委託契約など	近隣市町村でも実施のある事業で、町内での要望も多くあり、平成20年4月より開始。平成30年度より「鏡野病院・たんぼぼ」に加えて、広域利用で津山市の「松尾小児科・さくら」「小畑醫院・方舟」も利用可能となっており、津山市の2施設は小学6年生まで利用可能である。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 生後8か月の乳児から小学校3年生までの児童	ア 9歳以下の人口	人	見込 実績	1,000 1,003	1,003 984	984 991	1,000	1,000
イ	イ 利用登録件数	件	見込 実績	90 112	112 90	90 70	90	
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 病児・病後児を預かることで、保護者に安心して働いてもらう	ア 病児保育室利用件数	件	目標 実績 達成率	170 199 117.1%	199 68 34.2%	68 67 98.5%	67	67 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 利用登録申請	ア 利用登録申請件数	件	目標 実績 達成率	90 112 124.4%	90 90 100.0%	90 70 77.8%	90	90 77.8%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		03 項		02 目		01 07 06		01 06 事業名					01850 事業番号	
	一般会計		民生費		児童福祉費		児童福祉総務費		病児一時預かり事業						
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比		
国庫支出金		8	19	10	10	11	国庫支出金		0	40	10	10	40		
県支出金		4	9	5	5	5	県支出金		0	17	5	5	17		
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,179	1,513	1,044	1,137	1,137	-469	一般財源	1,021	1,043	433	1,137	1,137	-610		
合計	1,179	1,525	1,072	1,152	1,152	-453	合計(A)	1,021	1,043	490	1,152	1,152	-553		
財源名称	子育てのための施設等利用給付交付金						従事正職員人数	1	1	1	1	1			
	岡山県子育てのための施設等利用給付交付金						延べ業務事務時間	24	30	30	30	30			
							人件費計(千円)(B)	84	100	101	103	103	0		
	最終予算額		1,072 千円		予算執行率		45.7%	トータルコスト(A+B)	1,105	1,143	591	1,255	1,255	-553	
主な支出事業内容(予算)	負担金				969 千円				主な支出事業内容(決算)	負担金				446 千円	
	委託料				50 千円					委託料				31 千円	

事業番号	01850	事務事業名	病児一時預かり事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成20年4月より鏡野病院で開始、平成30年度から津山市2施設も利用可能となった。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
周知を図るとともに、制度の充実に努めてきた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
病児を預けることで安心して働くことができる。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明	仕事と子育ての両立と、乳幼児の健全な育成を進めるためのもので、子育て支援充実に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明	核家族化が進む中、子育て支援と乳幼児の健全な育成を進める上で、町が関与することは妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明	生後8か月から小学校3年生まで(広域利用では7か月から小学校6年生まで)を対象としており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明	新型コロナウイルスの流行が収まれば、受入れを休止している医療機関も再開するなどで成果が向上することが見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明	病気によっては長期看護を必要とし、保護者の負担が増加するため、廃止・休止はできない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明	受入れ可能な医療機関等が増えれば、流感等の流行期などの利用者の増加にも対応できるが、現状では難しい。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	利用の増加が事業費の増加につながる。事業費の削減はできない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	兼務で事務を行っており、人件費の削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明	予約制で自己負担もあるため、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルスの流行が収まれば、受入れを休止している医療機関も再開するなどで成果が向上することが見込まれる。
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	